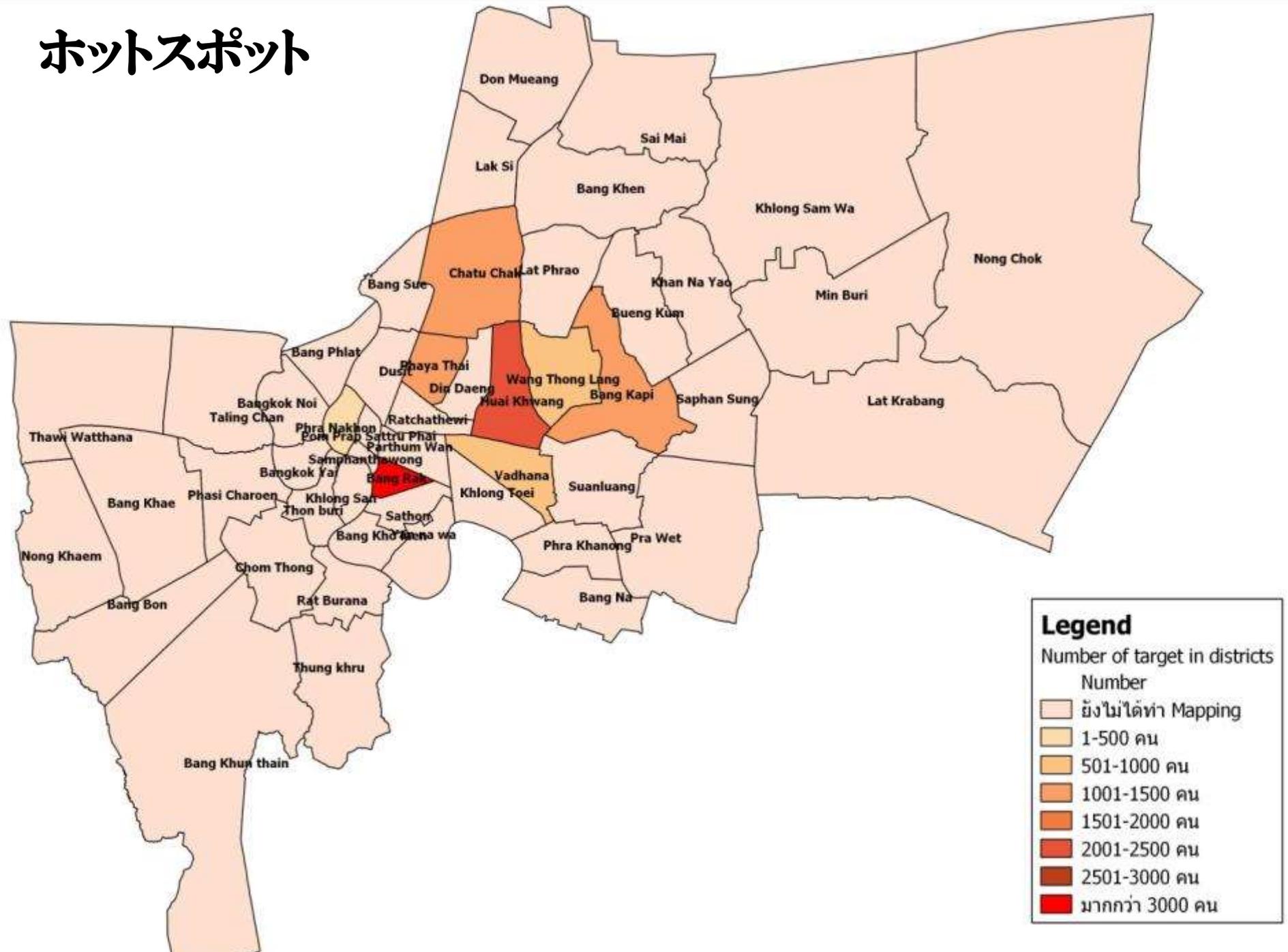


# ホットスポット







# バンコクにおけるMSMの 行動調査

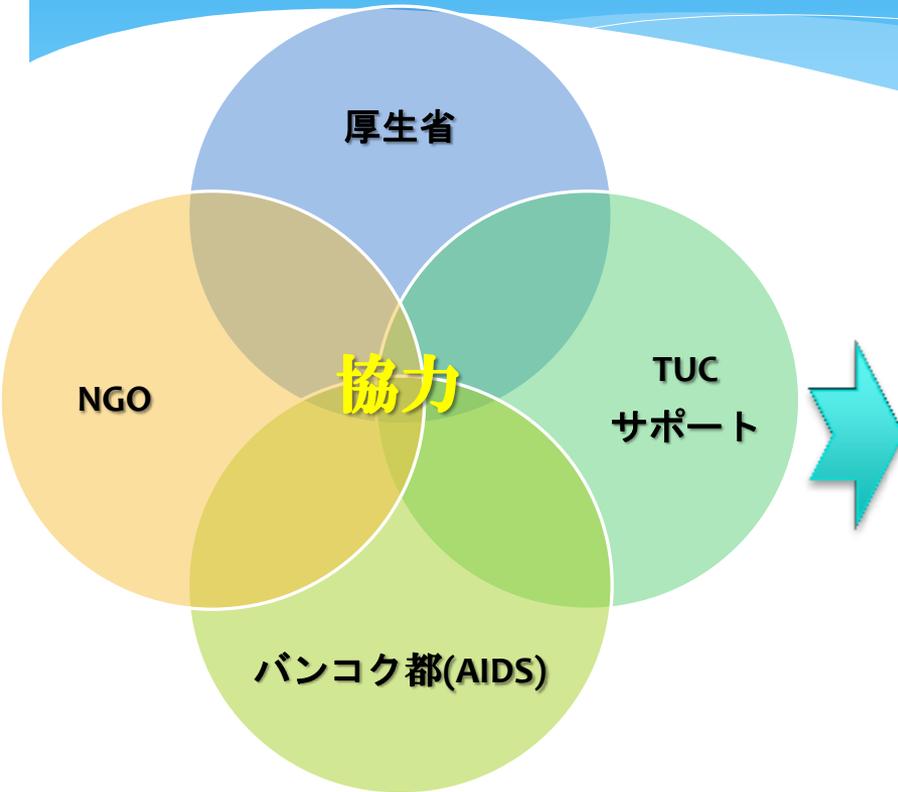
# 目的

1. 男性と性交渉する男性 (MSM) の間でのHIV感染率とHIV感染に関係する行動を測定すること。
2. HIV感染率とHIV感染に結びつく行動の疫学的傾向をみること。
3. MSMの行動とHIV感染をモニタリングするための手順を作ること

# 調査方法

計画会議

場所



ラーチャターウィー区

バーンカピ区

ワッター区

ワントーンラーン区

パヤータイ区

チャトウチャック区

プラナコーン区

フウィクワーン区

公園

パブ

サウナ

# 実施方法

## 時期

2016年  
4月－5月



## 対象者

MSM297

MSW150

トランスジェン  
ダー 150



## 資材

- 同意書
- オラクイック  
(唾液HIV検査キット)
- スマホによる  
アンケート





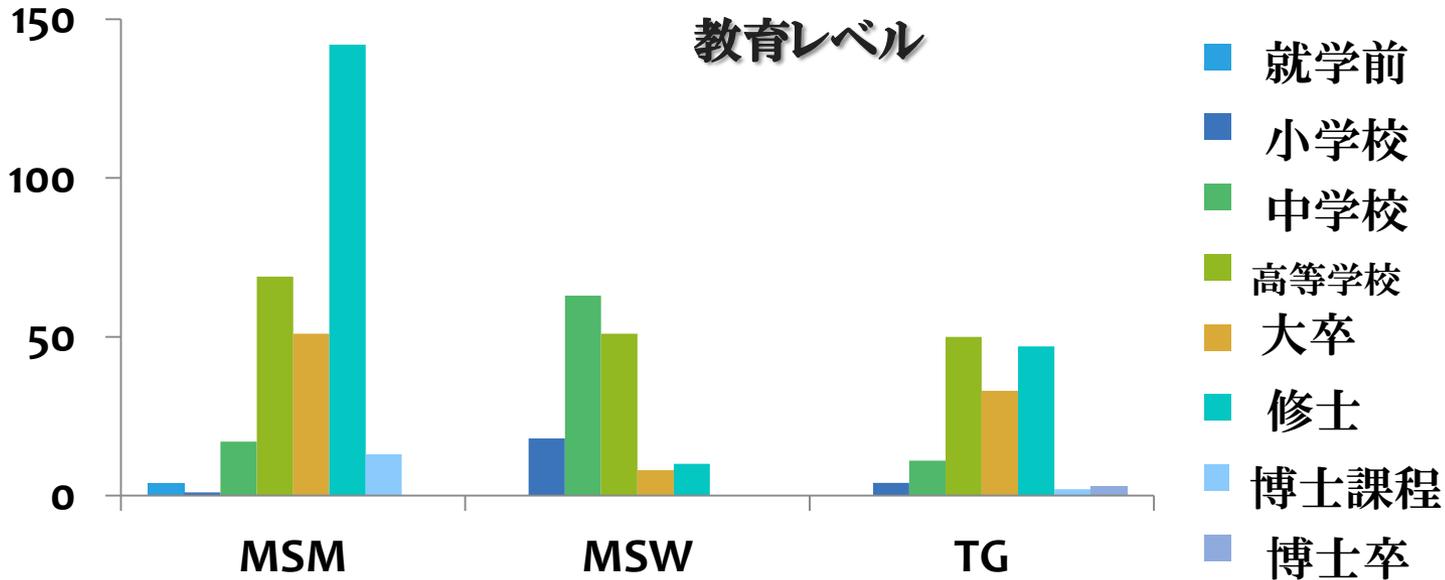
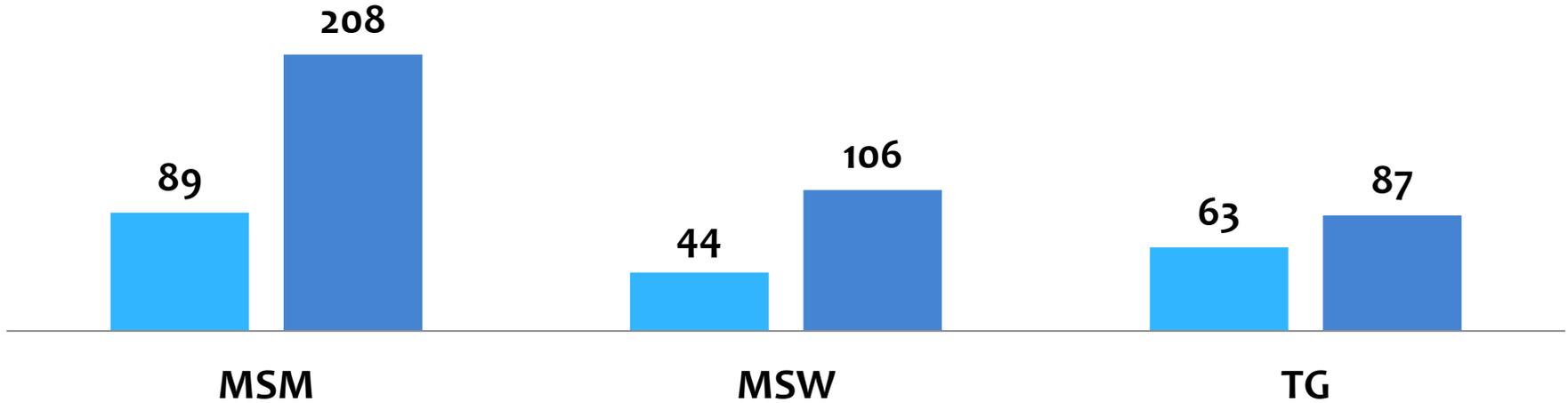
# 調査結果と協議

# 人口構成データ

年齢

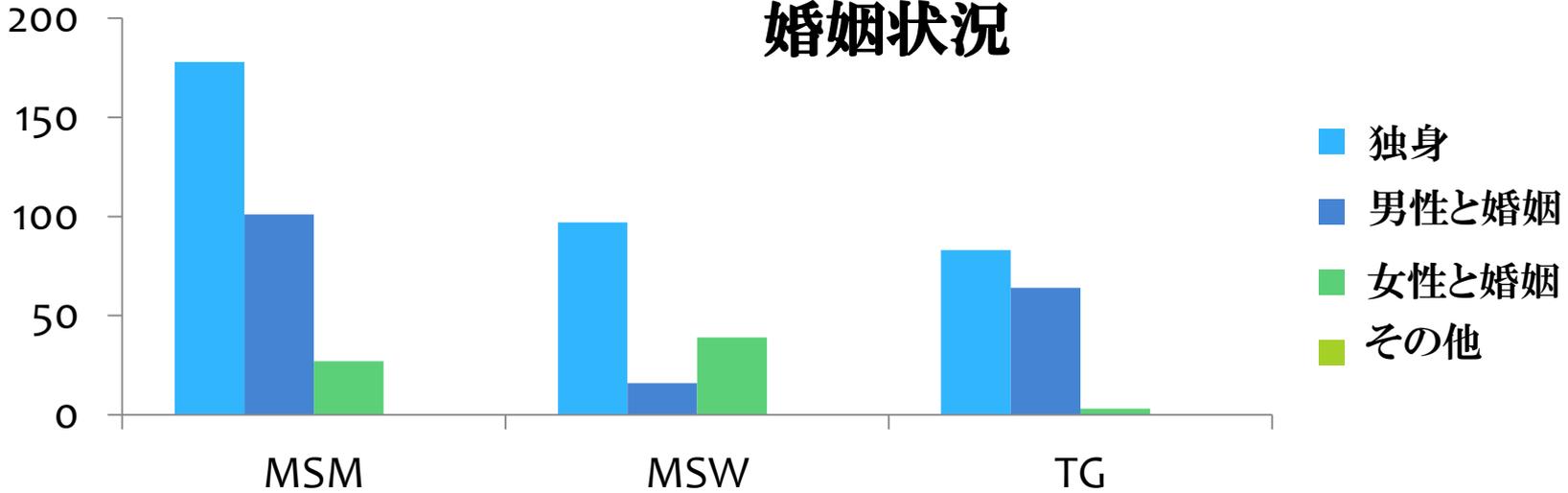
■ 25歳以上

■ 25歳以下

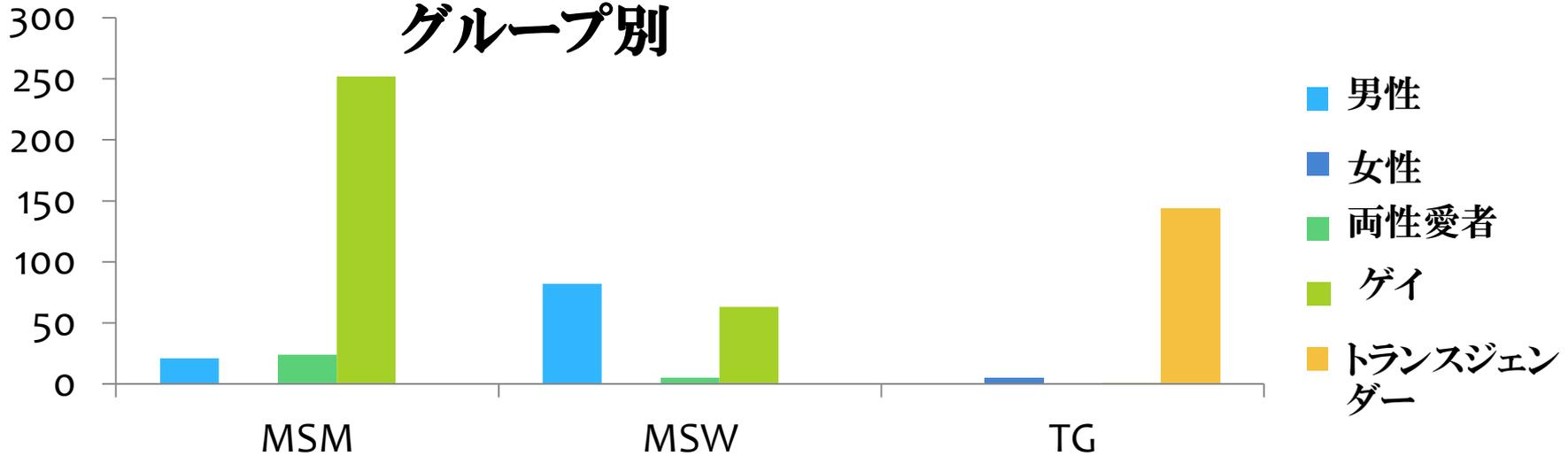


# 人口構成データ

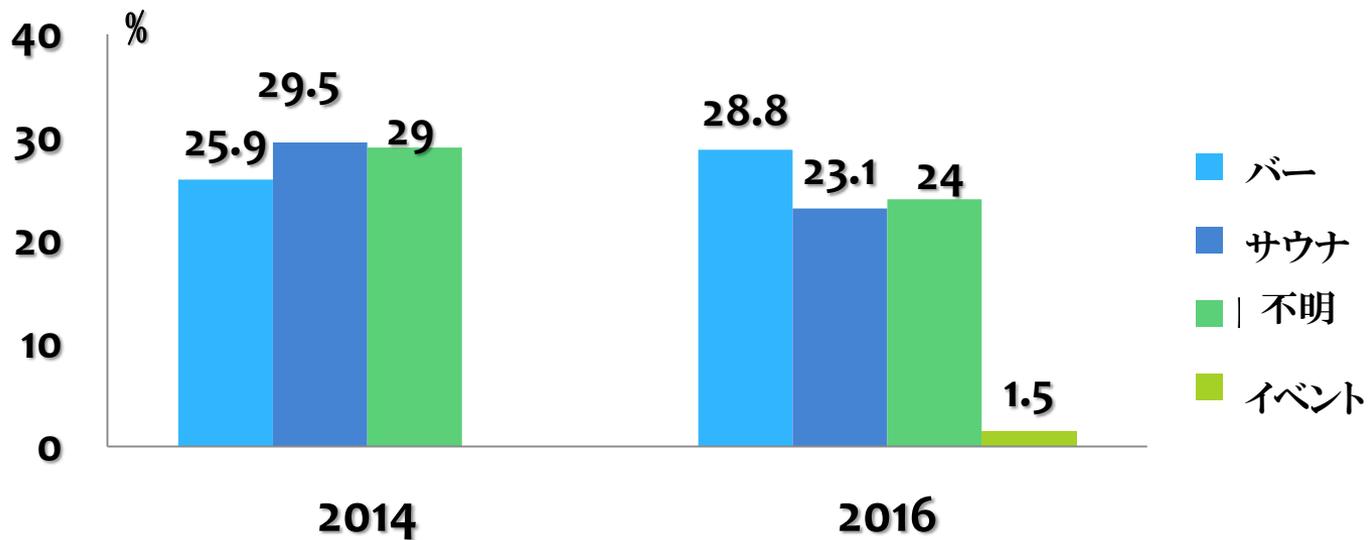
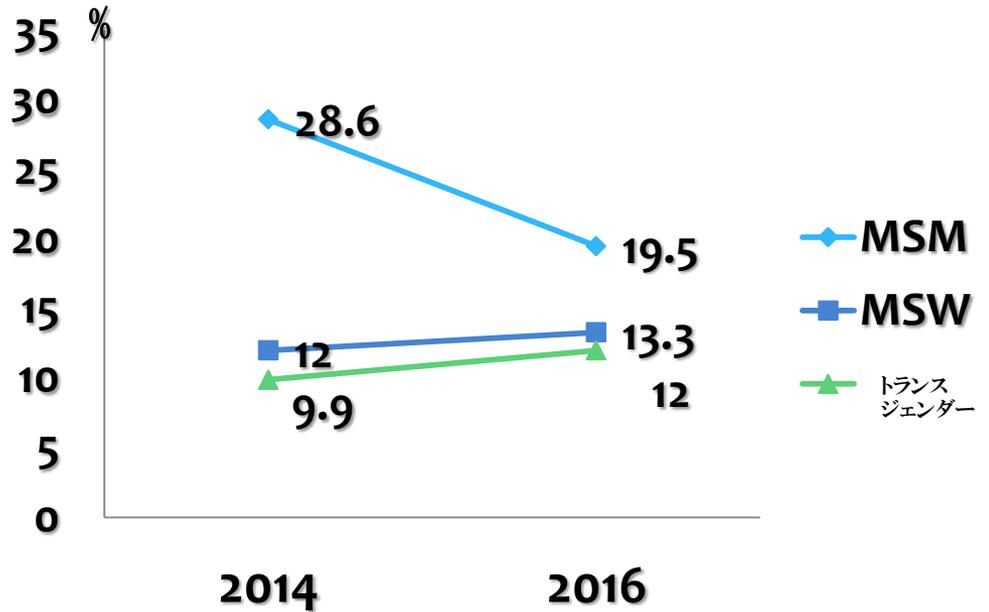
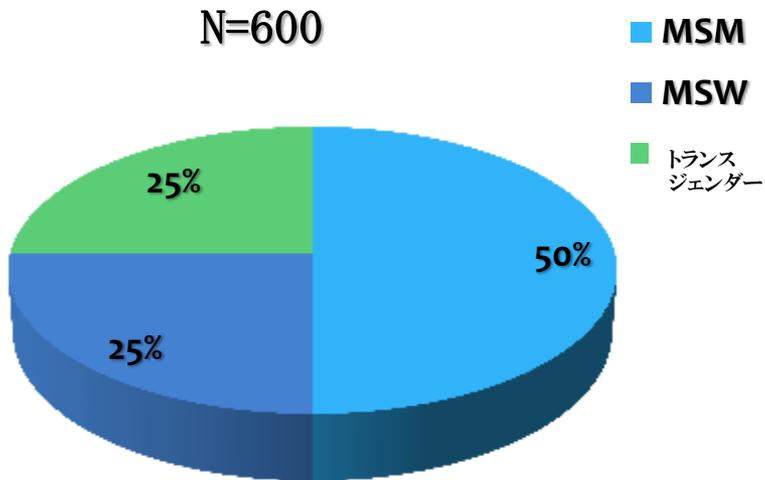
## 婚姻状況



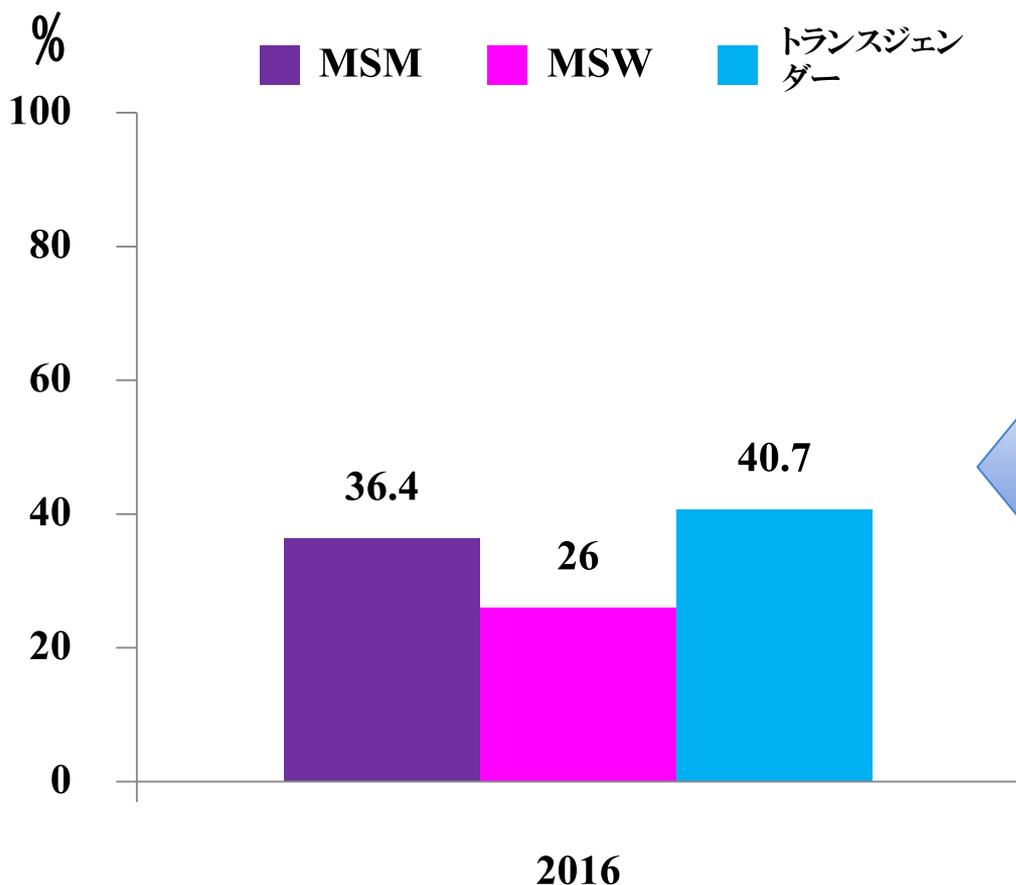
## グループ別



# 感染率 結果 2016

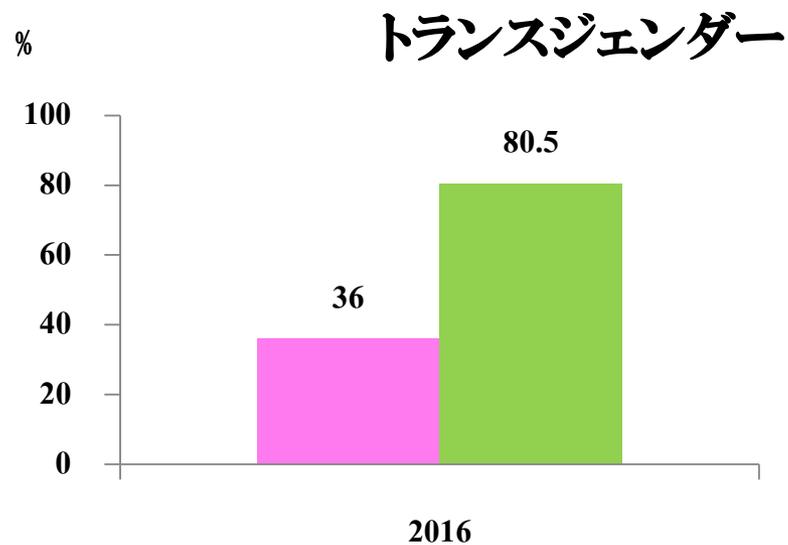
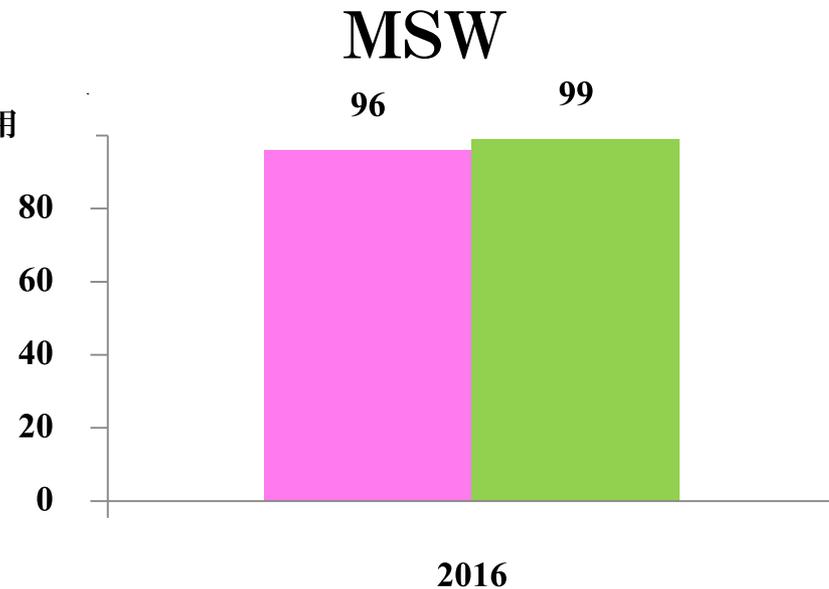
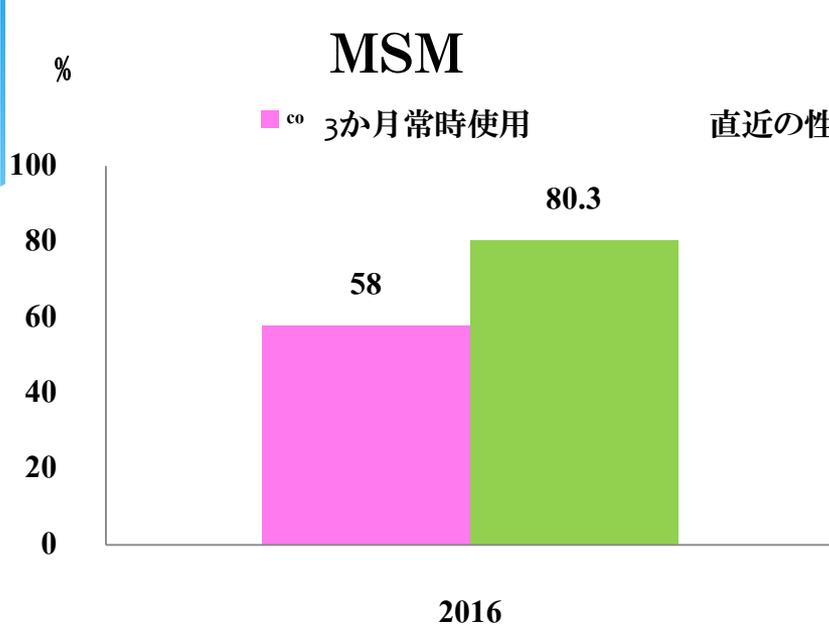


# HIVについての知識 (UNGASS)



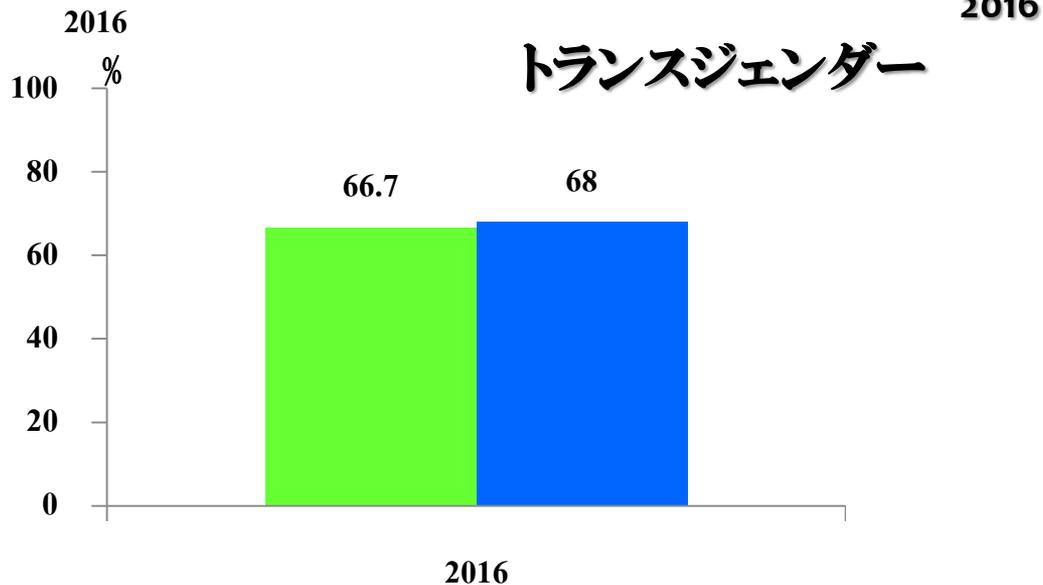
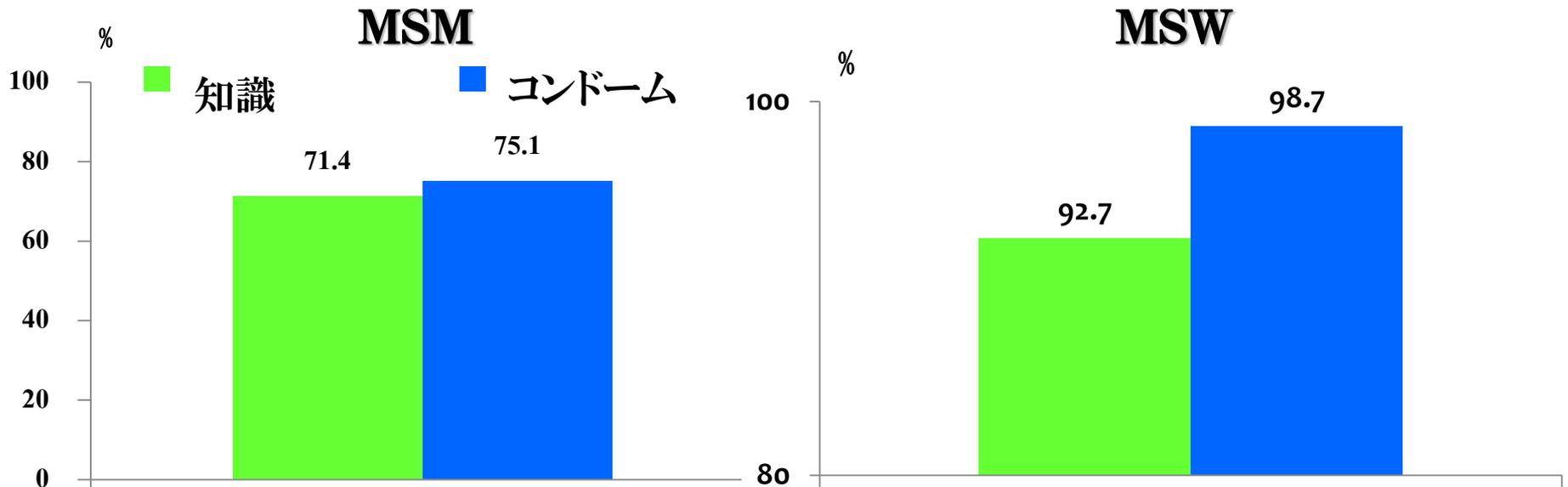
1. パートナーは、HIV非感染者でただひとりののみと性交渉を行なうなら、HIV / AIDS感染のリスクを下げることができる。
2. 性交渉のたびにコンドームを使えば、HIV / AIDS感染リスクを下げることができる。
3. 健康に見える人もHIV / AIDSに感染している場合がある。
4. HIV / AIDS感染者と一緒に食事しただけで感染することがある。
5. 蚊にかまれてHIV/AIDSに感染することがある。

# 決まった相手のいるMSMのコンドーム使用率

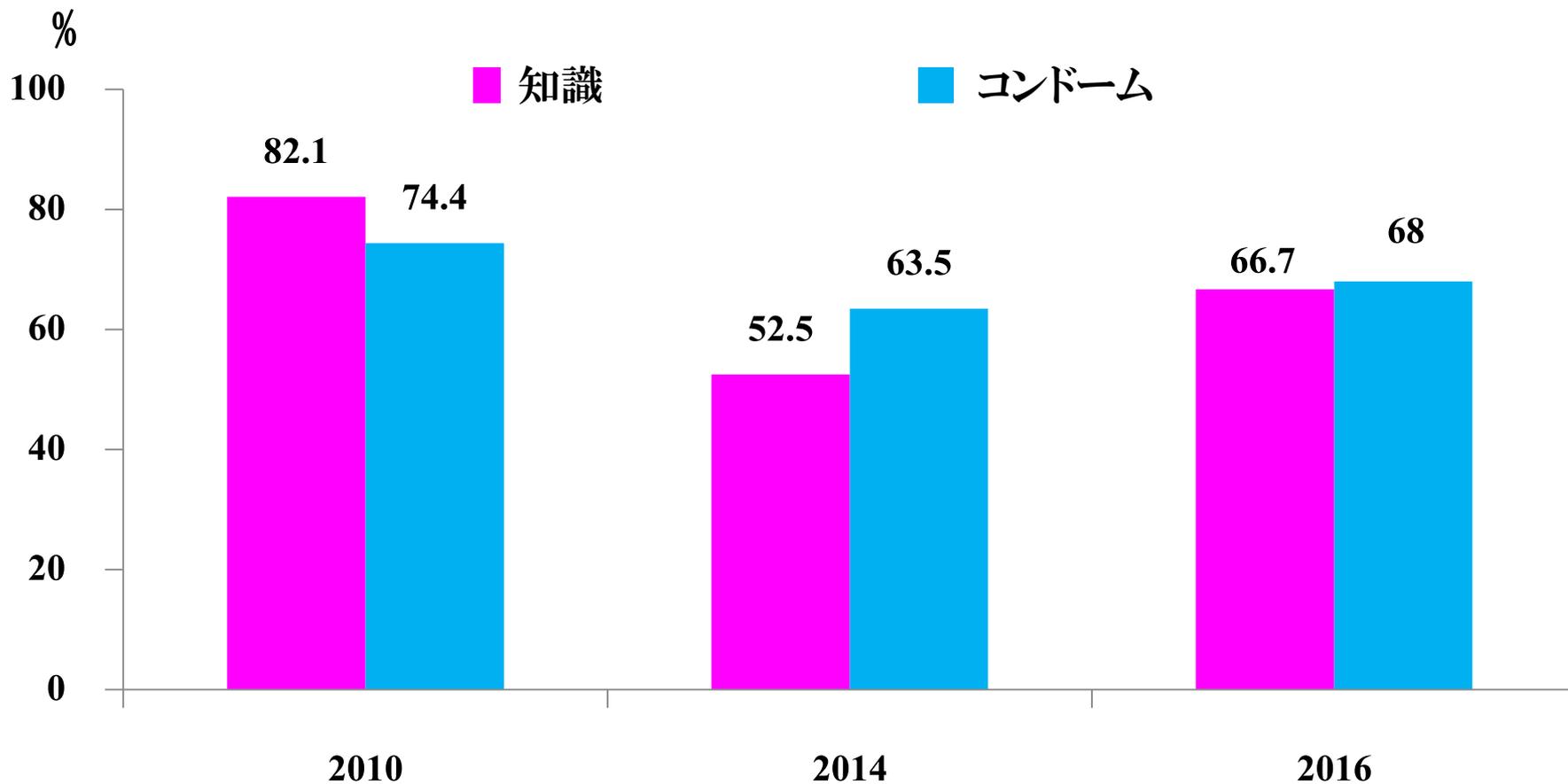


出典：生物学的行動調査 (IBBS)

# MSMにおける予防知識・用品の利用



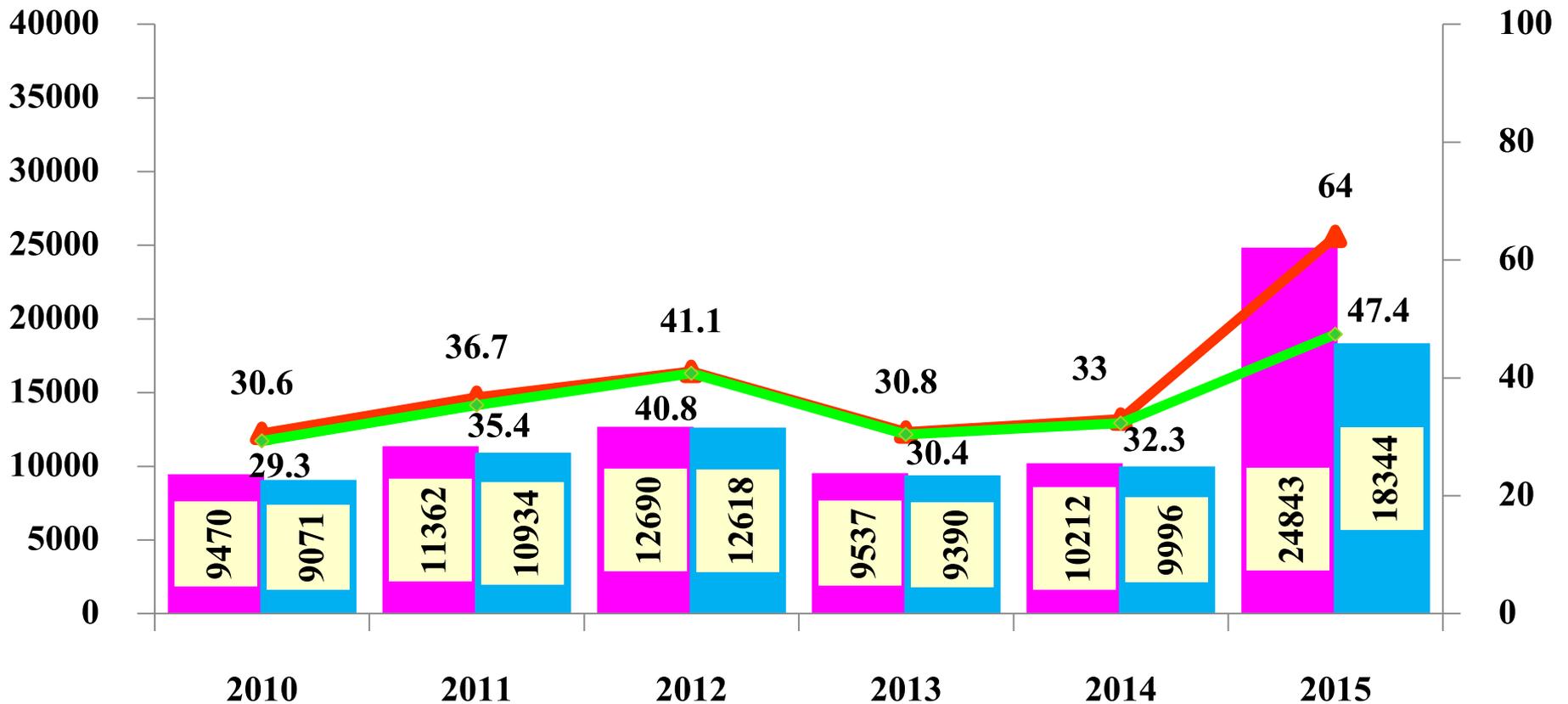
# トランスジェンダーにおける 予防知識・用品の利用(2010-2016)



出典: 生物学的行動調査 (IBBS)

# MSMにおける 予防知識・用品の利用

■ 知識     
 ■ コンドーム     
 ▲ 知識(%)     
 ▲ コンドーム(%)



出典：มูลนิธิรณรงค์ฯ ไทย, RSAT, SWING, บางกอกเรเนโบว์, NGOกทม., หน่วยงานสังกัดกรุงเทพมหานคร



# 結論

# 結論

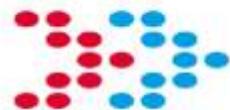
1. 新規感染はMSMに比較的多い
2. 特に若いMSMに多い
3. 大卒の学位を持つMSMに多い
4. MSMの感染が2014年から下がっている。
5. 2016年は バーにおけるMSMの感染が多い
6. **コンドーム使用と予防情報・用品の利用については、MSMやトランスジェンダーよりMSWの方が良い数字である。**



# **バンククの行動計画**

# MSM／トランスジェンダー女性およびMSWへの対応について 90-90-90目標を達成する為のバンコクの近道

1. MSMの高リスク・若年グループ層が予防方法へアクセスすること
2. 全セクターにおけるネットワークを発展させること
3. バンコク首都保健所における、MSMやトランスジェンダー女性に対し、HIV、性感染症検査とPREPの利用を増加すること
4. HIV検査が標準化するような開発を行うこと



**FAST-TRACK**

ENDING THE AIDS EPIDEMIC BY 2030

